

お役立ち情報 ①

在宅療養に役立つ 介護用具・医療機器

- * …………… 介護保険を利用してレンタルできます。
- ** …………… 介護保険を利用して購入できます。
- *** …………… 医療機器のため、介護保険の対象にはなりません。

▶ 介護用ベッド *

背上げ機能やベッド自体の昇降機能のあるベッド。マットレスやサイドレール（ベッド柵）などの付属品も一緒にレンタルできます。

▶ ^{じょくそう}褥瘡（床ずれ）予防用具 *

エアマットレスやウレタンマットレスなど。圧を分散して床ずれを予防します。

▶ 体位交換器 *

体位交換の際に使用するマットやパッドのことです。

▶ 移動を助ける用具 *

車いす、歩行器、歩行補助杖。車いすを借りるときは、クッションなど車いすと一体になって使うものも付属品としてレンタルできます。

▶ ポータブルトイレ **

ベッドサイドに置いて使用する簡易トイレです。

▶ 口腔ケアに必要な物品

ガーグルベースンや洗面器（うがいのあとに吐き出す容器）、やわらかめの歯ブラシ、粘膜用スポンジブラシなどがあると役立ちます。

▶ その他

状況に応じて、吸い飲みや吸い口コップなど水分を摂るための容器、使い捨て手袋、尿取りパッド、オムツ、防水シートなどがあると便利です。

▶ 痰の吸引器 ***

のどにからまった痰を陰圧で吸引します。取扱業者からレンタルまたは購入することができます。

▶ 酸素濃縮器／酸素吸入器 ***

酸素を補給するための器械。医師の指示のもとに取扱業者からレンタルします。

※介護保険で借りたり購入したりできる用具については、条件が細かく決まっているため、レンタルや購入の前によく確認しましょう。
※介護用具や医療機器のレンタル・購入の際は、まず、ケアマネジャーや訪問看護師に相談しましょう。

お役立ち情報 ②

在宅療養に関わるお金の話

在宅療養の費用

在宅療養の費用は、おおまかに「医療費」と「介護費」の2つに分けられます。医療費には、在宅医の訪問診療、訪問看護の費用など、介護費には訪問介護、介護用具にかかる費用などが含まれます。

在宅での生活の維持において、訪問による医療や看護は欠かせないものです。訪問回数の増加や医療用麻薬の薬剤費など、手厚い医療や看護が必要になるにつれ、かかる費用は増し、一般的に亡くなる時期に高額になる傾向にあります。

医療費について

訪問回数や行った医療行為の費用を一つひとつ積み上げていく出来高制で医療費を算出する場合と、一定の回数の訪問診療などを条件に「在宅がん医療総合診療料」として定額で算出する場合があります。公的医療保険により、入院治療でかかる医療費と同様に、患者さんの自己負担分は一定（1～3割など）に設定され、高額療養費制度で1か月に支払う上限額も定められています。

院外処方では医療用麻薬などを使用する場合は、別途薬剤費がかかります。医療機関ごとに自己負担額まで一時的に支払う必要がありますが、高額療養費として合算の対象となり、申請することで約3か月後に還付されます。

介護費について

一般的に介護保険は65歳以上の高齢者が対象ですが、40歳以上でがんの治療が難しくなり介護が必要な場合など、特定の疾病や条件に該当する方は65歳未満でも利用可能です。介護保険の自己負担分は1割で、要介護度（要介護1～5）によって給付限度額が異なります。

医療費

公的保険の
対象となる
ものの例

訪問診療（定期的な訪問）、
訪問看護、往診（突発的な病
状の変化に対しての緊急的な
訪問）、注射などの医療処置、
薬代、酸素濃縮器／酸素吸入
器のレンタル

介護費

訪問介護、介護用具（貸与、
購入）、住宅改修など

※給付限度額を超える分は自費となり
ます。

自費となる
ものの例*

痰の吸引器や吸引チューブな
ど、訪問診療や訪問看護の際
の交通費

吸い飲みや吸い口コップ、ガー
グルベースンなど口腔ケアに
必要な物品、使い捨て手袋、
防水シート、オムツ（市区町
村や介護度によって補助制度
あり）など

*：お住まいの地域や病状などによって、助成や補助が受けられる場合があります。

詳しく知りたいときには

費用について詳しく知りたいときには、医療費については在宅医や訪問看護師、そのなかでも薬剤費については薬剤師、介護費についてはケアマネジャーに尋ねましょう。また、医療ソーシャルワーカーに相談することもできます。医療ソーシャルワーカーは、社会福祉の視点から、ご本人やご家族の抱える心理的・社会的な問題の解決・調整、社会復帰の促進を支援しています。また、がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター（P20）でも相談することができます。

お役立ち情報 ③

在宅支援チームを構成する 職種と相談窓口

在宅支援チームを構成する職種

在宅療養中の患者さんと家族を支える在宅支援チームは多様なメンバーで構成されています。各職種がそれぞれの専門性を発揮すると同時に連携し、その方らしい穏やかで自然な最期が迎えられるようサポートします。

▶ 在宅医（在宅療養支援診療所などの医師）

定期的にご自宅を訪問し、急変などの緊急時には電話や往診で対応します。また、がんの専門的な治療を行った病院の担当医と連携し、必要に応じて再入院などの手配を行います。

▶ がんの治療を行った病院の担当医

治療や身体の状態に異変があったときなどに、在宅医と連携して対応します。

▶ 歯科医・歯科衛生士

歯や口のケア、合わなくなった義歯の調整、虫歯の治療などの相談に対応します。

▶ 訪問看護師（訪問看護ステーションの看護師）

在宅支援スタッフの要として、在宅医やケアマネジャー、ホームヘルパーなどと連携して、病状の確認、医療処置や医療相談、療養の世話などを行います。緊急時の対応とともに、患者さんと家族の心身のケアにあたり、介護指導も行うことで家族ケアの中心の役割を担っています。

▶ 保険薬局の薬剤師

薬の説明をしたり、用法や副作用に関する相談に対応したりします。在宅支援チームの薬剤師は、自宅まで薬を届け、服薬指導を行うとともに、患者さんの服薬状況をチェックし、場合によっては在宅医に処方変更の提案なども行います。日本在宅薬学会による「在宅療養支援認定薬剤師」の認定を受けた薬剤師も活躍しています。

▶ 管理栄養士(在宅訪問管理栄養士)

食事や栄養に関するさまざまな相談に対応します。日本栄養士会・日本在宅栄養管理学会による「在宅訪問管理栄養士」の認定を受けた管理栄養士も活躍しています。

▶ 理学療法士・作業療法士

日常生活を送るうえでの基本的な動作の回復や、機能低下の予防を図ります。また、痛みを和らげる体位の保ち方や、介護する側・される側にとって負担の少ない体位交換や移動の方法を指導します。

▶ ケアマネジャー

介護保険を利用する場合に、在宅療養でどのような支援を受けられるか、患者さんや家族と一緒にサービス計画書（ケアプラン）を作成します。介護支援専門員とも呼ばれています。

▶ ホームヘルパー

患者さんの自宅を訪問し、日常生活の介護や買い物、掃除などの援助を行います。訪問介護員とも呼ばれています。

▶ 福祉用具専門相談員

患者さんの体の状況や家庭の環境に合った福祉用具を、患者さんや家族が選ぶのを援助し、福祉用具についてのさまざまな相談に対応します。

在宅療養の相談窓口

在宅療養に関するおもな相談窓口です。

▶ 地域包括支援センター

在宅療養に関するさまざまな制度の利用や福祉の相談に対応しています。各市区町村が公的に設置している施設です。

▶ がん相談支援センター

がん診療連携拠点病院のなかにあり、がんの治療と療養についてのあらゆる相談に応じています。在宅療養に関することも相談可能です。

▶ 市区町村の窓口

医療や介護に関する助成制度の申請や相談などに応じています。

信頼できる情報源

インターネットで情報を検索する際に、信頼できる情報源をまとめました。

がんに関する総合的な情報

国立がん研究センター「がん情報サービス」

がんについて、病気や治療の流れ、医療機関や緩和ケアに関する情報など、信頼できる情報をわかりやすくまとめたウェブサイトです。



医療機関・相談窓口の情報

▶ 相談先・病院を探す

「がん情報サービス」> 相談先・病院を探す

- 全国のがん診療連携拠点病院や小児がん拠点病院
- 全国のがん相談支援センター
- 全国のがん希少がんの専門病院

などを病名やお住まいの地域から検索することができます。



▶ 地域のがん情報を探す

「がん情報サービス」> 制度やサービスを知る > 地域のがん情報

各都道府県が提供している情報を中心に、ウェブサイトや冊子で公開されている各地域のがんに関する情報がまとめられています。



お金に関する情報

「がん情報サービス」> 制度やサービスを知る > がんとお金

がんの治療にかかるおもな費用、利用できる経済的支援制度とその相談窓口についてまとめられています。



がんの在宅療養に役立つ情報

地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報 普及と活用プロジェクト「がんの在宅療養」

がんの在宅療養に関する情報を、患者さん、ご家族、医療・介護従事者向けに提供しています。本書のウェブ版もこちらから閲覧できます。



在宅がん療養財団「在宅がんウィット」

がん患者さんとそのご家族が、在宅で療養する際に役立つ情報をQ&A形式で多数掲載しています。



国立がん研究センター 中央病院 看護部 「生活の工夫カード」

外来通院の患者さんが生活上で実際に不便に感じた事柄に対して役に立つ、さまざまな工夫をコンパクトにまとめたカードを閲覧できます。



日本癌治療学会「患者・市民の皆さま」

がん治療と新型コロナウイルスやワクチンに関する、一般の方向けのQ&Aなどを掲載しています。市民公開講座の情報も得られます。



医薬品に関する情報

▶ 処方された薬についての情報を探す

くすりの適正使用協議会「くすりのしおり」

病院や診療所で処方されるさまざまな医療用医薬品の情報を検索することができます。



▶ 薬の使い方や副作用への対応などの情報を探す

医薬品医療機器総合機構（PMDA）

「一般の方におすすめのコンテンツ」

医薬品や医療機器に関する情報、副作用への対応に関する情報、それらの相談窓口などについて調べることができます。



就労に関する情報

▶ がんと就労にまつわる情報を探す

「がん情報サービス」> 制度やサービスを知る >
がんの仕事

がんと就労にまつわるさまざまな情報を Q&A 形式でまとめた「がん
と仕事の Q&A」を閲覧することができます。



▶ 両立支援に関する情報を探す

厚生労働省「治療と仕事の両立支援ナビ」

がんに特化したサイトではありませんが、利用可能な支援制度の説明
や、仕事と治療の両立に関するイベント情報などを掲載しています。



補完・代替療法に関する情報

厚生労働省「『eJIM』（「統合医療」情報発信サイト）」

民間療法や統合医療、サプリメントなどをはじめとする補完・代替療
法について、エビデンス（科学的根拠）に基づいた情報を紹介してい
ます。



医薬基盤・健康・栄養研究所

「『健康食品』の安全性・有効性情報」

食品・食品成分（栄養素や健康食品）に関する安全性や有効性につい
て、エビデンス（科学的根拠）に基づいた情報を紹介しています。



AYA 世代・妊孕性（妊娠・出産）に関する情報

▶ AYA 世代のがんに関する情報を探す

「がん情報サービス」> AYA 世代の方へ

AYA 世代とは 15 歳～30 歳代の思春期・若年成人世代のことです。
AYA 世代のがん患者さんに特有の課題や対策について紹介してい
ます。



▶ がんの治療と生殖機能への影響に関する情報を探す

「がん情報サービス」> 症状を知る／生活の工夫 > 妊^{にんよう}孕性

がんの治療は時に生殖機能に影響を及ぼすことがあるため、将来子どもをもちたいという希望や、もつ可能性がある場合に必要な知識や対応について紹介しています。



患者会・患者支援団体に関する情報

▶ 患者会や患者支援団体を探す

「全国がん患者団体連合会（全がん連）」

全がん連はがん患者団体の連合体組織で、全国の多くの患者会が加盟しています。加盟している患者会や支援団体を検索することができます。



がんや在宅療養に関する用語集

「がん情報サービス」> 資料室 > がんに関する用語集

がんに関連したさまざまな用語（医療の専門用語や在宅療養に関連する語を含む）をわかりやすい言葉で解説しています。



神戸医療産業都市推進機構「がん情報サイト」>

PDQ[®] 日本語版 がん用語辞書

PDQ[®] は、米国国立がん研究所（NCI）が配信している世界最大のがん情報データベースです。がんに関連する用語を、日本語と英語のそれぞれから検索できます。



こちらでも用語を検索できます

本書の全文を掲載しているウェブサイト「がんの在宅療養」（地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援 普及と活動プロジェクト）内にもがんの在宅療養に関する用語集があります（本書に登場する主要な用語の検索ができます）。併せてご利用ください。



その他：サポーターケア（支持医療）・地域での相談窓口に関する情報

日本がんサポーターケア学会

がん患者さんに必要な「支持医療（サポーターケア）」について学術的な活動を行っています。治療や療養のあらゆる時期において起こりうる、身体や心のさまざまな症状に対して質の高い医療やケアを届けることを目指しています。



日本癌治療学会「がん医療ネットワークナビゲーター」

地域でがん患者さんやご家族に、がん診療情報や医療サービス情報を提供したり、がん診療連携拠点病院への橋渡しをする、身近ながんの相談人材です。研修を受けたナビゲーターの養成が進められています。



その他：電話やチャットでの相談窓口

国立がん研究センター「がん情報サービスサポートセンター」

がんに関する心配ごとや知りたい情報を、どなたでも電話やチャットで相談できます。がん患者さんやご家族に必要な情報について「がん情報サービス」の内容を中心に入手することができます。また、がんの情報や支援の方法について相談することができるお近くの「がん相談支援センター」に関する情報を得ることができます。

がん電話相談

0570 - 02 - 3410

（ナビダイヤル）

受付時間：平日 10 時～ 15 時
（土日祝日、年末年始を除く）

相談は無料ですが、通話料金は利用される方のご負担となります。海外発信の電話は受け付けていません。

がんチャット相談

登録不要、匿名、相談料無料でスマートフォンやパソコンから相談が可能です。



受付時間：平日 12 時～ 15 時
（土日祝日、年末年始を除く）

※本書に記載されている情報・ウェブサイト（2次元コード）はいずれも2024年4月時点のものです。